

納入事例

松竹芸能株式会社様 お笑い劇場「新宿 角座」

ますます多様化するお笑い演目に応えるべく
デジタルコンソール "Si Compact 32" を採用。



▲音響調整室にある Soundcraft "Si Compact"



▲舞台 天井から小型ラインアレイスピーカー (VRX928LA × 3台) を両端に
フライング。舞台袖にはモニター用の EON510 を設置。



▲ラック

■松竹芸能株式会社様の東京初となる常設お笑い劇場

新宿駅から徒歩 5 分のにぎやかな場所に、2011 年 5 月にオープンした「新宿 角座」。江戸時代から続く由緒ある「角座」の名称を冠した劇場は、松竹芸能株式会社様の東京初となる常設劇場です。全 119 席の客席が階段状に配置された内部は、舞台と客席の距離が近く、ライブならではの一体感を存分に味わえます。演目はコントライブから落語まで、バラエティに富んだラインナップ。常に変化し続けるお笑い文化の新しい発信基地として、注目を集めています。

■オフマイクでも明瞭に。多様化するお笑い演目を支えるシステム。

コンソールには Soundcraft のデジタルミキシングコンソール "Si Compact 32" をご採用いただきました。「コンパクトなサイズ、高い視認性もポイントでしたが、決め手はヘッドアンプの性能です。」と選定の理由を語ってくれたのは、音響を担当する有限会社サウンドスペースの川上玲美さん。「最近のお笑いライブでは、オフマイクでの PA を前提に考える必要があり、ミキサーは音量を上げたらしっかり音が際立つことが必須でした。Si Compact はオフマイクでも音に芯が出るのでありがたいですね。」とご満足いただいています。角座では毎日のように演目が違う上、多人数の公演も増加しています。芝居のように効果音や映像効果の演出などが多用され、セッティングやオペレーションが以前よりも複雑化しているそう。「今回デジタルミキサーを採用したことで、高い要求にも応えられる環境を整えることができました。音響サイドからもお客様が笑いやすい雰囲気作りを追求していきたいです。」と、これからの笑いの音響現場で活躍するシステムとして、期待していただいています。

メインスピーカーには JBL PROFESSIONAL の小型ラインアレイスピーカー "VRX928LA" をフライング。施工を担当した株式会社ファーストエンジニアリングの渡辺幸俊さんは、ラインアレイを選択した理由を「壁の反射や視界への入り込みを考慮したのはもちろん、やはりオフマイクの微かな音を劇場全体に均一に届けたかった。」と語ってくださいました。ステージモニターには EON510 をスタンドに立てて設置。お客様の視界を遮らないよう、またステージにいる演者全員がモニターできるよう、左右の舞台脇から拡声しています。

HIBINO

hibino group

▼新宿 角座

〒160-0022
東京都新宿区新宿 3 丁目 20-8
トップスハウス 4F
<http://www.kadoza.jp/>



【オープン時期】

2011 年 5 月

【主要な納入機材】

機材	デジタル・ミキシングコンソール
ブランド名	Soundcraft
製品名	Si Compact 32

機材	スピーカーシステム
ブランド名	JBL PROFESSIONAL
製品名	VRX928LA、EON510

機材	パワーアンプ
ブランド名	AMCRON
製品名	CTs 2000

機材	シグナルプロセッサー
ブランド名	dbx
製品名	IEQ-31、DriveRack 260

機材	ワイヤレス・マイクロホンシステム
ブランド名	Shure
製品名	ULX Wireless

機材	マイクロホン
ブランド名	Shure
製品名	SM58SE、BETA 58A、BETA 57A

機材	パウンダリー・マイクロホン
ブランド名	AMCRON
製品名	PCC-160

●お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.
ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5783-3110
TEL : 03-5783-3882